

事業番号	02 05 06	事業改善シート (25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	北陸新幹線建設促進費				担当課	部局	企画振興部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	交通政策課		
	施策の総合的展開	5-1 高速交通・情報通信ネットワークの充実 1 新幹線の整備促進			E-mail	tetsudo@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S42 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	北陸新幹線を大阪までフル規格で早期に整備し、県民の利便性向上を図る。				
現状	○北陸新幹線は東京を起点とし、長野、上越、富山、金沢、福井などの主要都市を経由し大阪に至る約700kmの路線である。昭和48年の整備計画策定から24年を経た平成9年に高崎・長野間が開業。以降、順次工事区間が延長され、平成26年度末に長野・金沢間が開業予定となっている。				
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 ・沿線都府県と連携して、国等に要請する必要がある。 ・官民の連携により、県内機運醸成等に取組む必要がある。			
	県民との協働による実施：可能				
事業内容	① 成果目標 (H25)				
	○大阪までのフル規格による早期全通を図るため、沿線の10都府県とともに政府、与党、国会議員等に要請活動を行う。 ○平成26年度末の金沢延伸開業に向けては、官民連携組織である「新幹線延伸を活用した経済活性化協議会」の一員として、北陸各県との交流拡大のための取組を進める。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H25事業実績		
			(当初)	(決算)	H26 (当初)
1. 北陸新幹線建設促進同盟会負担金	負担金	・建設促進に係る国等へ要請活動(5月・11月) ・建設促進に関する調査研究及び広報等	1,800	1,800	1,800
2. 新幹線延伸を活用した経済活性化協議会負担金	負担金	・「北陸新幹線(長野経由)を活用した経済活性化会議」の開催(12月) ・第2回「富山・長野 経済・観光連携会議」の開催(3月)	297	297	297
3. 北陸新幹線・北しなの線開業関係事業費負担金	-	-	-	-	6,000
合計			2,097	2,097	8,097

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	1,800	2,097	2,097	8,097
	補正予算	417			
	合計(A)	2,217	2,097	2,097	8,097
	Aの財源				
	国庫支出金	0	0	0	0
	県債	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	2,217	2,097	2,097	8,097
決算額(B)	2,217	2,097	2,097		
概算人件費					
職員数(人)	0.20	0.40	0.40	0.40	
概算人件費(C)	1,652	3,303	3,303	3,303	
概算事業費(B(A)+C)	3,869	5,400	5,400	11,400	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26 目標
		目標	成果	達成状況	

目標に対する成果の状況	<p>・平成24年に工事実施計画が認可・着工された北陸新幹線金沢・敦賀間について、大幅な工期短縮を政府・与党等に対して強く要請。現在、「与党 整備新幹線建設推進プロジェクトチーム」において検討が進められている。(平成37年度⇒平成34年度)</p> <p>・北陸新幹線敦賀以西については、整備新幹線の中で唯一、ルートが決定されていない。大阪までのフル規格による早期全通を図るためには、敦賀以西のルート決定は必須であり、同盟会では国に対して、沿線地域の意見を踏まえながら調査等を進めること、整備方針を早期に明確化することを求めている。</p> <p>・平成26年度末の金沢延伸開業に向けては、3月に第2回「富山・長野 経済・観光連携会議」を長野市内で開催し、これまでの連携事業の成果と展望について意見交換を行い、引き続き相互交流を促進していくことを確認した。</p>
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・今後とも、引き続き沿線各都府県等と連携しながら、北陸新幹線金沢・敦賀間の大幅な工期短縮、更には大阪までのフル規格による早期全通を求めている。 ・平成26年度末の金沢延伸開業に向けては、各種イベントの開催、PR活動等の取組を官民一体で実施することにより、県内での機運醸成を図る。
--------------------	---